

都渋谷区

と名乗り、「教育現場出身 かつまくいかない。教育と

触れて学ぶ人付き合

コミュニケーション能力の向上を目指すし、芝居の要素を取り入れたユニークな教育法「ドラマケーション」が注目を集めている。これまで主に小中学校などで活用されてきたが、就職活動対策などにも用途が広がりがつつある。



「ドラマケーション」の指導者を養成する講座で、身体表現に取り組む受講生の様子

東京都新宿区

じわじわ人気「ドラマケーション」

「必ず誰かの体に触れ、指導者を養成するため、造語。花を表現して。はい、の認定講座の一場面。ストップ」。大学生や、このほか、4人1組で腕を組んだまま行

った20〜50代の28人、う鬼ごっこや、共通点目的に実施されてきた。最近、大学が就職活動に向けて、学生を「ワンタッチ盛り込んだ多彩なメニュー」に挑戦していた。の自己アピール力向上、の場での良好な人間関係をつくるために企業

実施した、「ファシリ07年ごろ。人間関係

就活や研修広がる活用



「ドラマケーション」の指導者を養成する講座で、ゲームを楽しむ受講生ら—東京都新宿区

を育むことを目的とし、気軽に楽しくできるのが特徴だ。名称は、約180人がファシリテーターに認定されている。受講生で、富山県東部教育事務所に勤める寺島紀子さん(46)は「ドラマケーションで学んだことを生かして、地元の生徒たちに友達の気持ちを受け止める力を植え付けた」と期待を込める。同センター講師の正嘉昭さんは、ドラマケーションの効果について「すべて遊びなので、リラクセスでき、集中できる。自分に素直になつて動くことで表現力がアップする」と話す。余計なアドバイスはせず、本人の意思を尊重するという。正さんは、指導するポイントについて「うまい、下手と評価せずに相手を認めること。認め合うことで、つたない表現の中にも面白さや楽しさを、お互いに見つけることができるんです」と説明している。

学校を落第したもや孤児の多くは院に送られる。一校では、赤い僧ども約50人が勉強いた。彼らが本堂を読む姿は、胸を全寮制の僧侶は、未来の僧侶の場所、かつ新しい家の子どもがする唯一の道だ。今は一般学校で、費無料が多く、増えたが、将べない子どもがののだ。成長して、僧から逃げ出す子、いるという。しんな子どもを受、現在、どこにもそこでユニセフ、倍学校の教育のを求めている。

ブータ

